

垂井町人口ビジョン

2015年～2060年

垂井町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

2015年～2019年

みんなで作ろう
笑顔あふれる垂井町

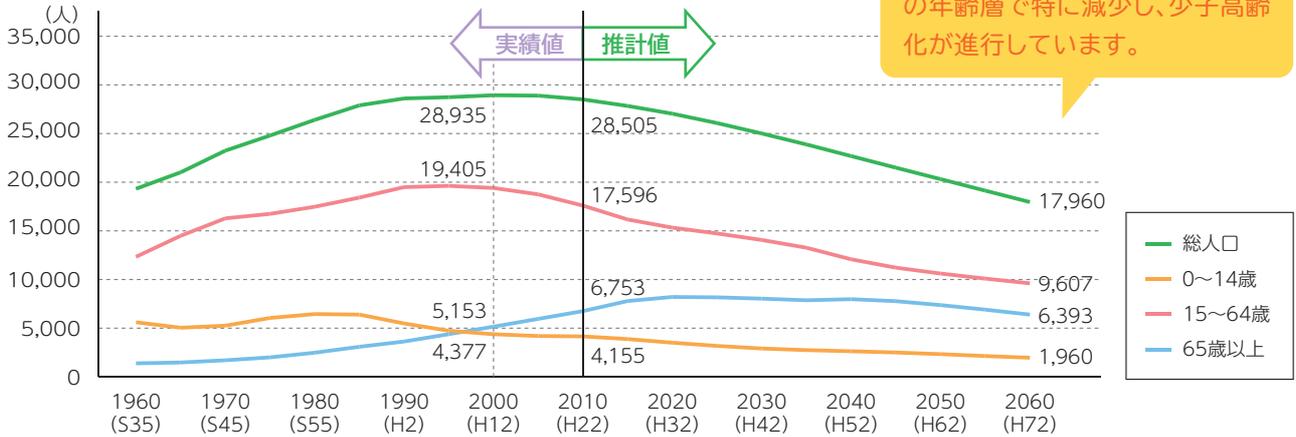
人口ビジョン・総合戦略とは…

人口ビジョンは、垂井町の人口の状況や将来展望人口を定めたものです。また、総合戦略は、魅力あるまちづくりを進め、将来展望人口を達成するための具体的な施策を定めたものです。

「垂井町人口ビジョン」の概要

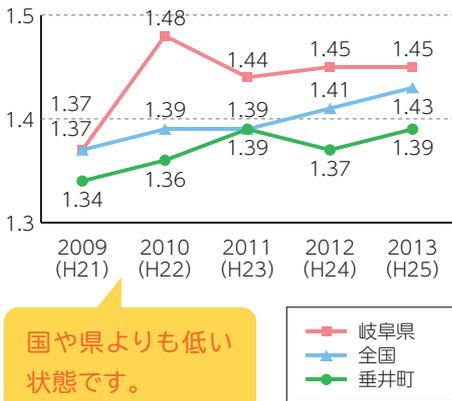
垂井町の人口の状況

■垂井町の人口の推移と推計



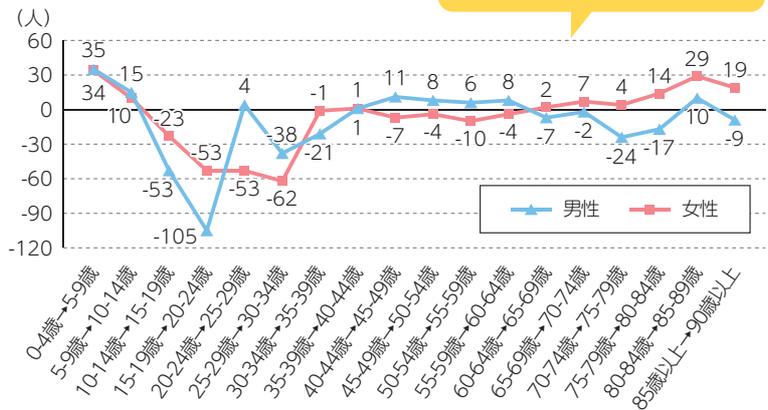
人口は2000年をピークに減少しはじめ、0~14歳、15~64歳の年齢層で特に減少し、少子高齢化が進行しています。

■合計特殊出生率の推移



国や県よりも低い状態です。

■年齢階級別転入・転出者数の差 (2005~2010年)

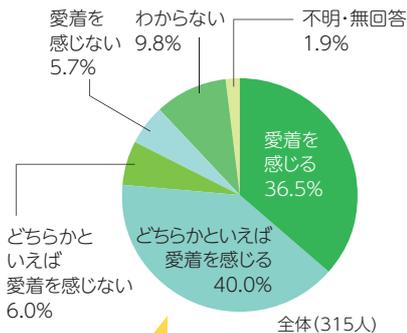


進学、就職、結婚を機に町外に出る若者が多いです。

住民の意識

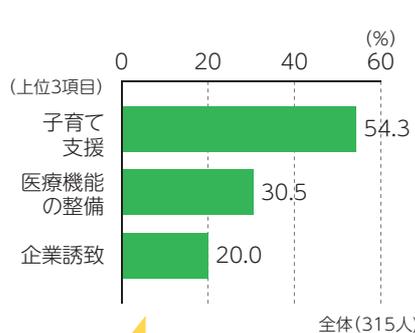
※町内在住の18歳以上50歳未満の方から1,000人を抽出し、アンケート調査を実施(315人から回答)。

■垂井町に愛着を感じているか



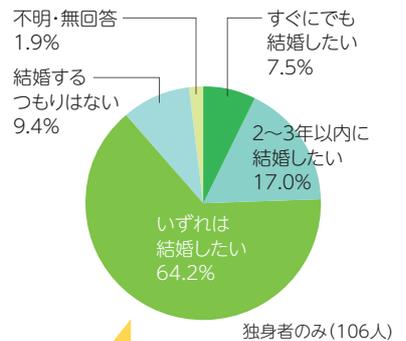
町に愛着を感じている人が76.5%

■定住のために必要だと思うもの



半数以上の人々が、子育て支援を必要としています。

■将来的な結婚の希望

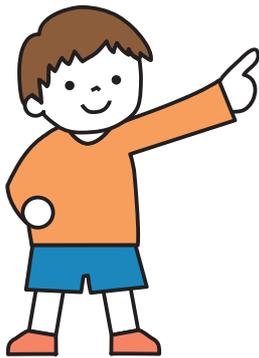


未婚化・晩婚化が進むなか、20~40代の独身の方のうち、9割が結婚を希望しています。

垂井町の将来展望人口

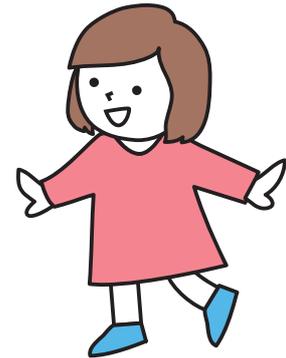
このまま人口減少、少子高齢化が続くと、地域経済の縮小や、社会保障費の世代間の不公平、公共サービスの低下などさまざまな問題が発生するおそれがあります。

そこで本町においては結婚支援、出産・子育て支援、若い世代の新たな就労先の創出や就労支援等の総合的な施策の展開により、合計特殊出生率を上昇させ、10代から30代の若年層の転出を抑制することで、将来人口21,000人を目指します。

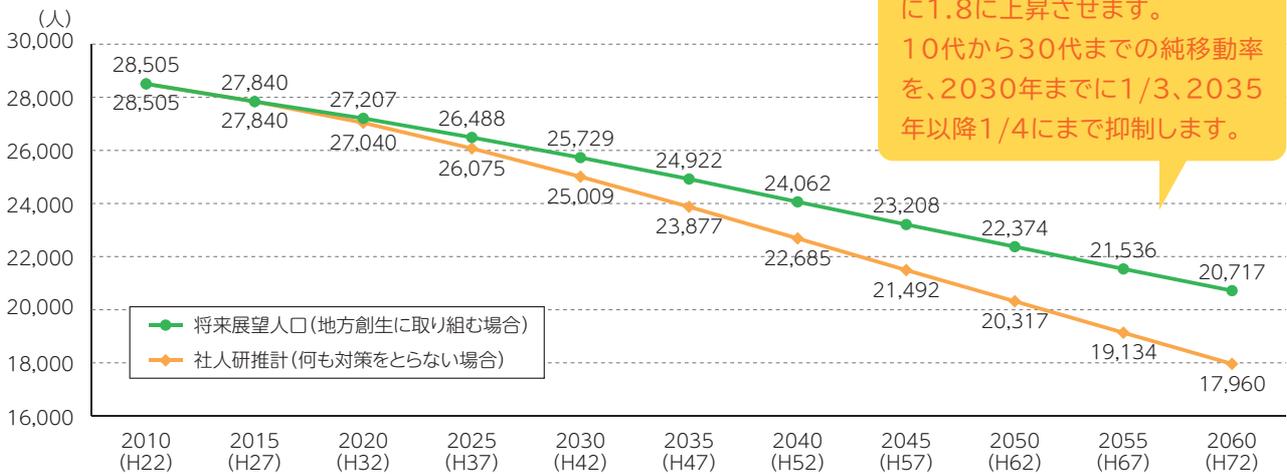


**本町人口の
将来展望**

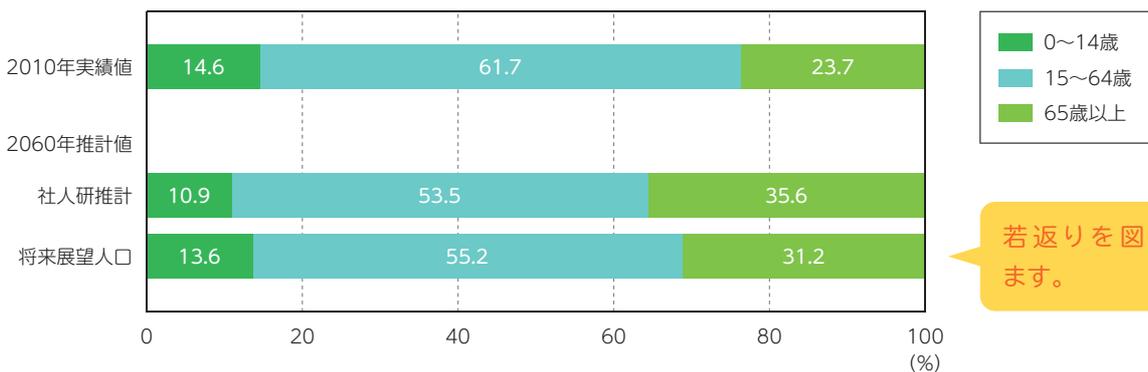
**2060年に
21,000人
を目指します。**



■人口の推計

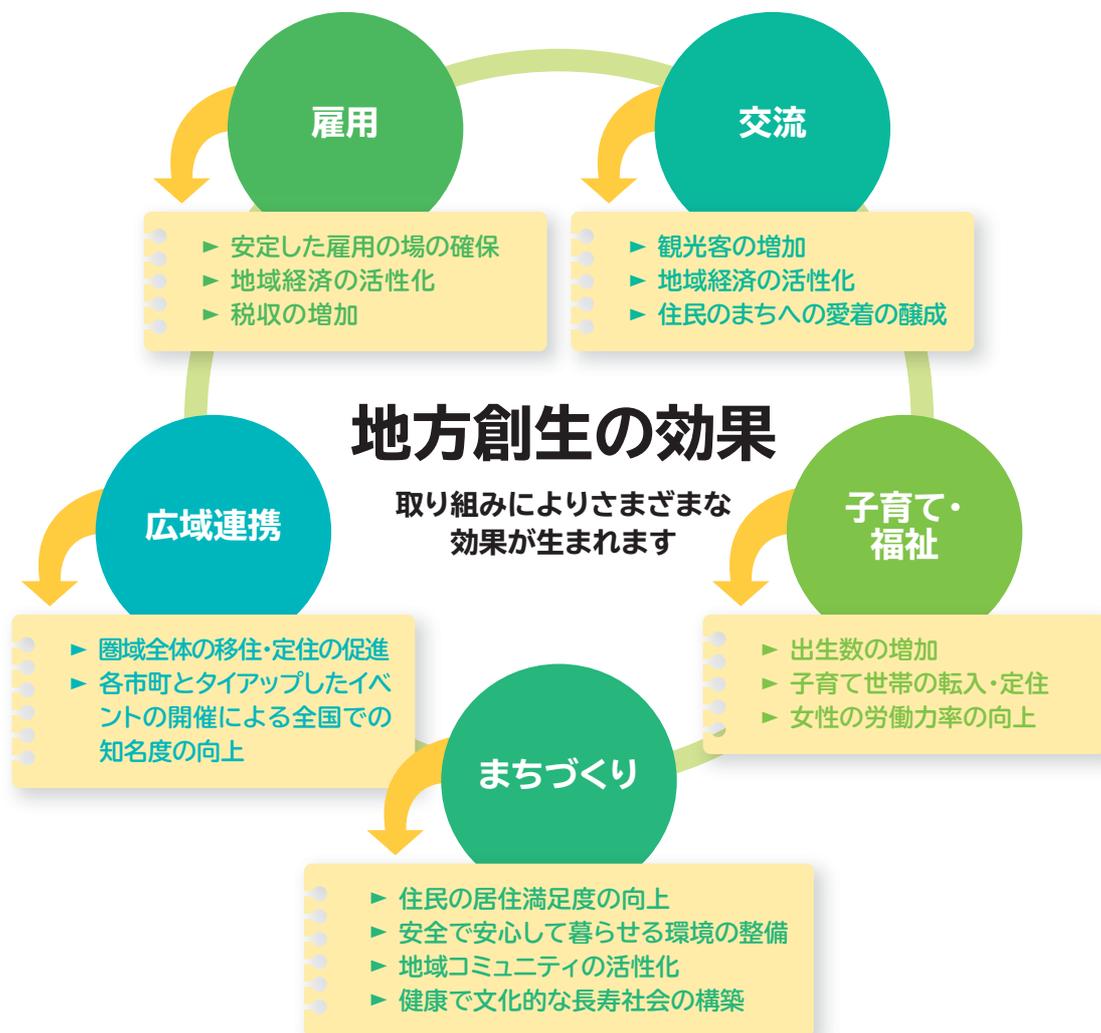


■年齢3区分別人口割合の推計



「垂井町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

「垂井町人口ビジョン」で掲げる将来展望人口の達成に向け、2015(平成27)年度～2019(平成31)年度までの5年間で取り組む具体的な施策として「垂井町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。戦略では、次の5つの基本目標に沿って施策を展開し、それぞれの施策の効果を数値目標に基づき客観的に評価・検証しながら推進していきます。



雇 用

現状と課題

産業振興及び雇用の創出は地域経済の活力の源です。しかし、人口が減少するなか、就業者数の減少により経済活動の低迷や地域活力の低下、それらに伴う町税の減収等が懸念されます。

また、本町は進学、就職、結婚に伴う若年者の町外流出が顕著であるため、魅力ある職場づくりも課題のひとつとなっています。そのため、安定し、かつ多様な雇用の場を創出するとともに、女性、高齢者、障がいのある人など、さまざまな人材が活躍できる産業基盤づくりが求められています。

基本方針

本町の強みである工業力を生かしつつ、農業、商業などの多様な産業をバランス良く発展させるため、「新たな企業誘致」、「既存企業への支援」、「新規就農者の増加」等の施策を進め、個々の希望に応じた働き方ができるまちを目指します。

数値目標

数値目標	基準値	目標値(H31)
製造業従業者数	4,136人(H25)	4,500人
新規就農者数(計画期間内の累計)	—	3人

施策

施策1 新規企業の誘致強化

施策3 就労の拡大・雇用促進

施策2 地元企業への支援

施策4 農林業の振興

垂井町に定住する人を増やすためには、「しごと」があることがとても重要なんだ。

そのためには新しく企業に来てもらったり、町内の企業が元気になる必要があるよ。

人口が減ると、働く人も減ってしまうから、人を呼び込んだりいろんな人が活躍していくことも必要だね。



交 流

現状と課題

本町には、町ゆかりの武将、竹中半兵衛重治、垂井宿などの歴史的な資源が数多くありますが、全国的に見て、町の認知度は十分ではありません。また、観光客のみならず、定住する人を増加させていくためには、町の魅力の発信を行い、より多くの人を町に呼び込むための取り組みが必要となっています。

基本方針

本町の魅力ある歴史、文化資源を生かすとともに磨き上げ、積極的にPRを行うことで観光客の増加を目指します。また、町内外で垂井町の認知度を高めることによって、将来的な定住人口の増加、転入者数の増加を図ります。

数値目標

数値目標	基準値	目標値(H31)
垂井町観光案内所訪問者数	3,829人(H26)	4,500人
純移動数(転入者数と転出者数の差)	▲63人(H25)	▲12人

施策

施策1 観光資源の活用・発信

施策2 まちのPR

施策3 移住・定住の促進

施策4 垂井応援ネットワーク事業

施策5 公共交通の拡充

垂井町にしかない独自の魅力を発信したり、垂井町を知ってもらうためのきっかけをつくったりしていくよ。

町の良いところをたくさん知ってもらって、訪ねてもらうための魅力づくりには、住民みんなの協力が欠かせないね!



子育て・福祉

現状と課題

住民アンケートによると、住民が定住にあたって求める施策として「子育て支援」をあげる回答が多数を占めました。さらにアンケートで把握した理想の子どもの数と実際の子どもの数には乖離がみられるため、希望する人数の子どもを産むことができるよう、その阻害要因を解消していく必要があります。

また、誰もが将来に希望を持てる社会にしていくためには、障がいの有無に関わらず、安心して暮らしていけるような地域づくりも求められます。

基本方針

希望する人が本町で結婚し、子どもを産み、安心して子育てができるよう各種支援を行い、合計特殊出生率の上昇、出生数の増加を図ります。また、障がいのある人に優しい地域社会の環境をつくり、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

数値目標

数値目標	基準値	目標値(H31)
出生数	203人(H26)	230人
合計特殊出生率	1.39(H25)	1.60

施策

施策1 結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援

施策2 ワーク・ライフ・バランスの推進

施策3 障がい者(児)福祉の拡充

垂井町で結婚して
出産、子育てをしたいという
人が増えるといいね。

そのためには、
子育て、福祉を充実させて、
誰もが暮らしやすいまちを
みんなでつくっていくことが
大切だね。



まちづくり

現状と課題

本町では、住民主体のまちづくりを進めるため、「まちづくり基本条例」の推進や地域ごとのまちづくり協議会の活動支援に取り組んでいます。今後、人口減少、高齢化が進むなか、より一層、地域による見守り活動、助け合い、支え合いの活動が重要になります。

また、青少年の健全育成や防犯・防災、多文化共生など、さまざまな分野でのまちづくり活動の活発化が求められます。

基本方針

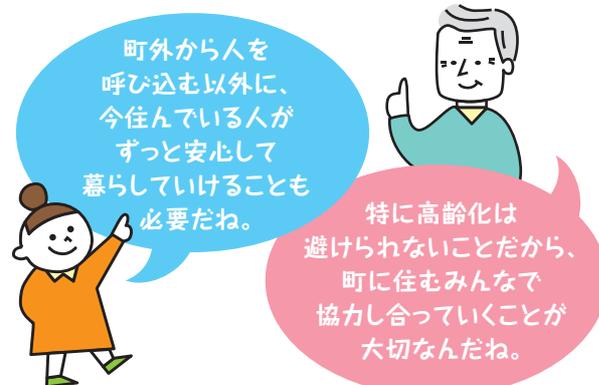
住民、企業、各種団体、行政が一体となったオール垂井で協働のまちづくりを進めるため、より多くの住民のまちづくりへの参画を目指します。また、子どもから高齢者にいたるまで、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

数値目標

数値目標	基準値	目標値(H31)
まちづくりへの住民参加数	24,219人(H26)	27,000人

施策

- 施策1 地域コミュニティの活性化
- 施策2 世代間交流の推進
- 施策3 健康づくり・生きがいづくりの推進
- 施策4 安全・安心まちづくりの推進
- 施策5 多文化共生の推進
- 施策6 空き家対策の推進



広域連携

現状と課題

本町では、転入・転出や、通勤・通学において、大垣市を中心とした西濃圏域での人の行き来が多くなっています。人口減少社会に突入するなか、西濃圏域の市町を戦略のパートナーとして、圏域全体で連携し合いながら活性化を図ることが重要となります。

基本方針

西濃圏域の市町において、互いの特徴や強みを生かして連携、協力し、相互に高めあうことで魅力向上及び活性化を図り、圏域全体の出生数の増加・転入者数の増加・観光客の増加等を目指します。

数値目標

数値目標	基準値	目標値(H31)
西濃圏域における転入者数	12,000人(H26)	12,600人
西濃圏域における観光客数	1,477万人(H25)	1,512万人

施策

- 施策1 広域連携による事業の推進